



産学公連携 PBLプログラム1・2

課題解決を目指す実践的な学び

本学が連携先とする企業や自治体から提供いただく実課題を解決することを通じて、「社会人基礎力」「自己肯定感」「コミュニケーション能力」を身につけることを目指します。企業等からの課題は具体的であり、学内だけではなく学外でも積極的に活動する

ことが求められます。授業の最後には企業への報告とプレゼンテーションの機会を設け、授業で得られたさまざまな知見やアイデアを実際に協力企業の方に伝えその評価を得ることで実践的な学びへとつなげていきます。

プログラム例

東急不動産等の企業と連携して課題解決を提案したり、岩倉図書館等地域の公的機関と連携して機関に応じたプロジェクトを企画立案したりする

